

琉球・沖縄 年中行事 Q&A

位牌・焼香について



●Answer

帰依 龍照(きえ りゅうしょう)
沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q 位牌のことで質問です。位牌には、縦型と横並び型があります。縦型と横並び型が二番前にある名前の人だけが供養を受けることになるので、横並び型に変えたら?とアドバイスされました。違いを教えてください(ちなみに実家は八重山にあります)。

(那覇市 Y・Kさん)

A 多分、Y・Kさん家の現在の位牌は、宮古・八重山地方に多い、「ヤマトイフェー(大和位牌)」の繰出位牌(くりだしはい)というタイプだと思います。

この位牌は、長方体の木箱の中に、10枚弱の位牌札という木札をトランプのように縦型に並べているもので、法事などの際、儀式・ヤファーフジ(先祖さま)の位牌札を、正面の窓口に配列して供養するという特徴があります。正面には、一枚分(一人分)の位牌札のスペースしかないため、一番前にある名前の人だけが供養を受けるような印象を持たれることは、とてもよく分かります。

それに対して、横並び型の位牌とは、ご先祖さまの

名前がずらりと並んだ「ウチナイフェー(沖縄位牌)」(転じてトートローメーのこと)を指しているのでしょうか。

繰出位牌とトートローメーの一番の違いは、位牌札の配列です。一人分の位牌札しか見えない繰出位牌に対して、トートローメーは、ウヤファーフジ全員の位牌札が見えますが、もちろん、どちらの位牌にも甲乙はありません。どちらを選ぶかは、本島、離島といった地域性や、喪主・施主の当時の判断でウチンケー(案内)されているようです。

今回、位牌の交換をアドバイスしてくださった方が、ご家族やご親族といった近い関係の方でしたら、横並び型を勧められることも理解できます。トートローメーは、ウヤファーフジ全員の位牌札が見えることから、「家系図位牌」とも呼ばれ、本島では主流となっています。Y・Kさんが本島在住ということもあり、確固たる交換の理由が見えます。

もし知人や友人からのアドバイスでしたら、それぞれの生活環境や家庭の歴史などが異なることから、参考までのご意見と感謝しつつ、現状の繰出位牌を敬われるのが望ましいかと思えます。

Q 足が不自由で、立ち座りができない母の代わりに焼香したいら、「本人がウサゲない」と通らないよ」と、おばさんから注意されました。今後は、母が自分で焼香した方が良いでしょうか?

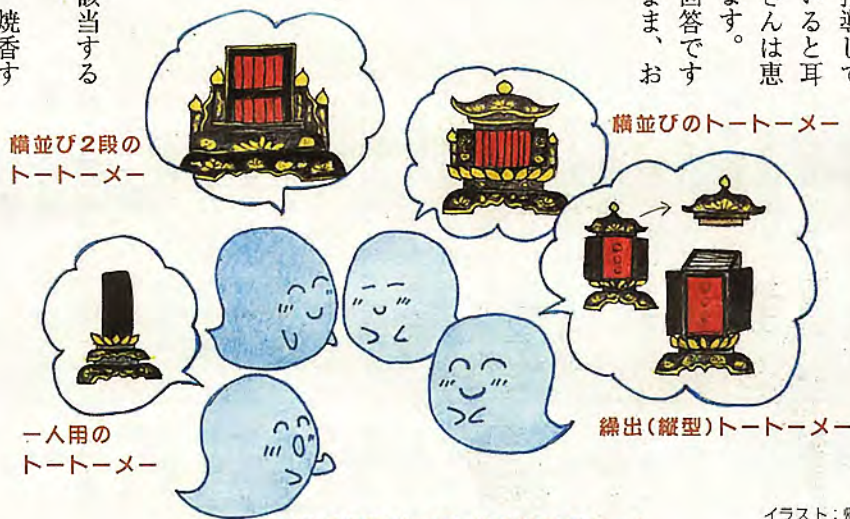
(那覇市 Kさん)

A 「焼香は自分自身で」という、おばさんのご意見、とてもありがたいです。昨今の沖縄では、このような作法を指導してくれる方が減っていると耳にしますので、Kさんは恵まれていると思います。

さて、質問への回答ですが、Kさん、そのまま、お母さんの代わりに焼香されて大丈夫です。

「えっ?」って思われたでしょうか? おばさんのご意見は、ごもつともなのですが、本人が焼香できない事情がある場合、「代理焼香」という沖縄固有の作法がありますので、今回のケースはそれに該当すると考えてください。一例を挙げると、焼香す

るべき人が海外や県外在住の場合、沖縄に住んでいる家族や親族に焼香を依頼することがあります。これが代理焼香です。このとき、代わりに焼香する方は、焼香すべき本人の名前や住所などを報告しながら行うという地域・家庭もあるようです。代理の方に依頼しても焼香させていただくという気持ちでお願いすることです。代理の方に依頼していただく場合、ぜひ、続けてご供養してあげてくださいね。



「おうちによって、いろいろだね~」

イラスト: 帰依ひろ子